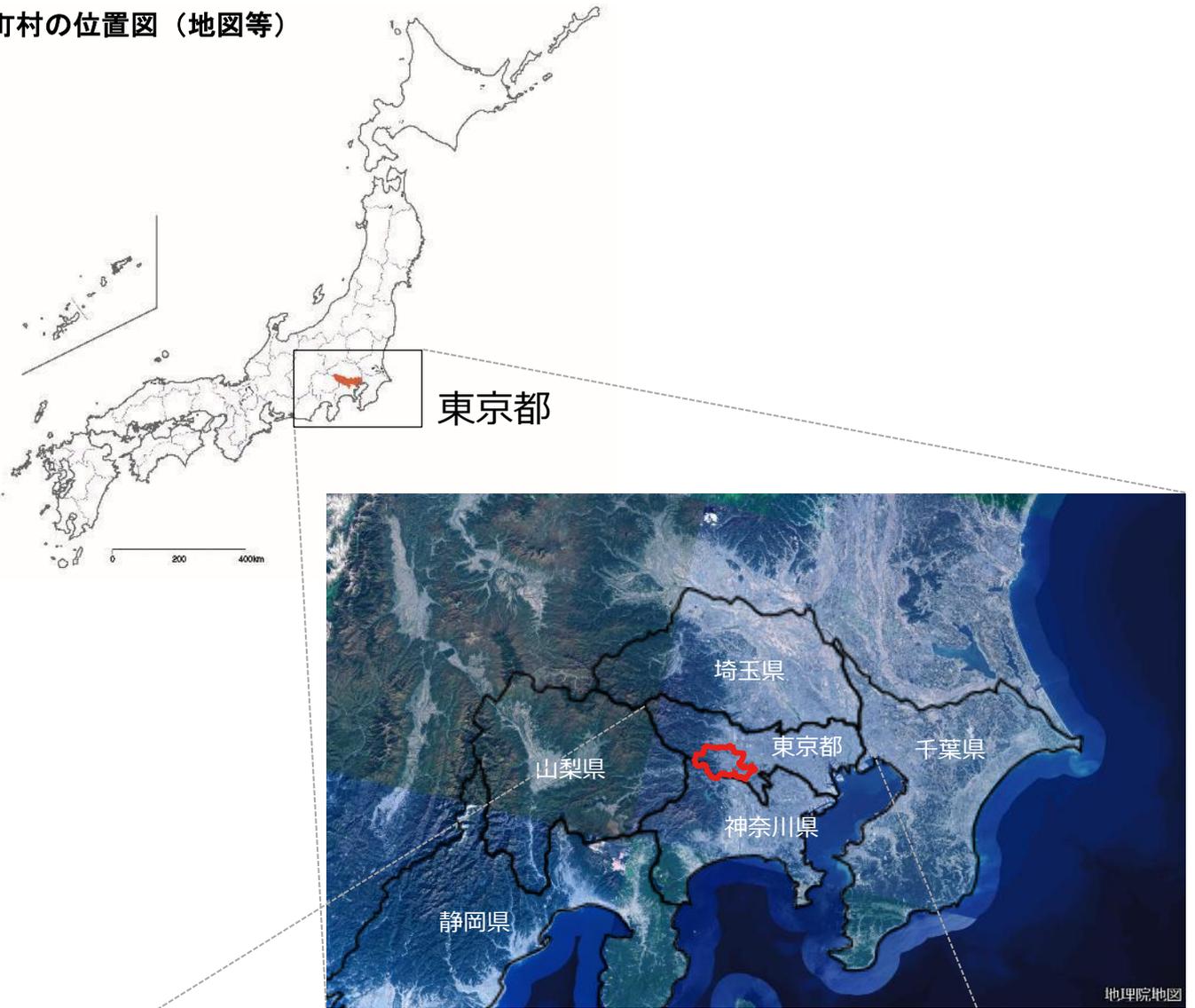


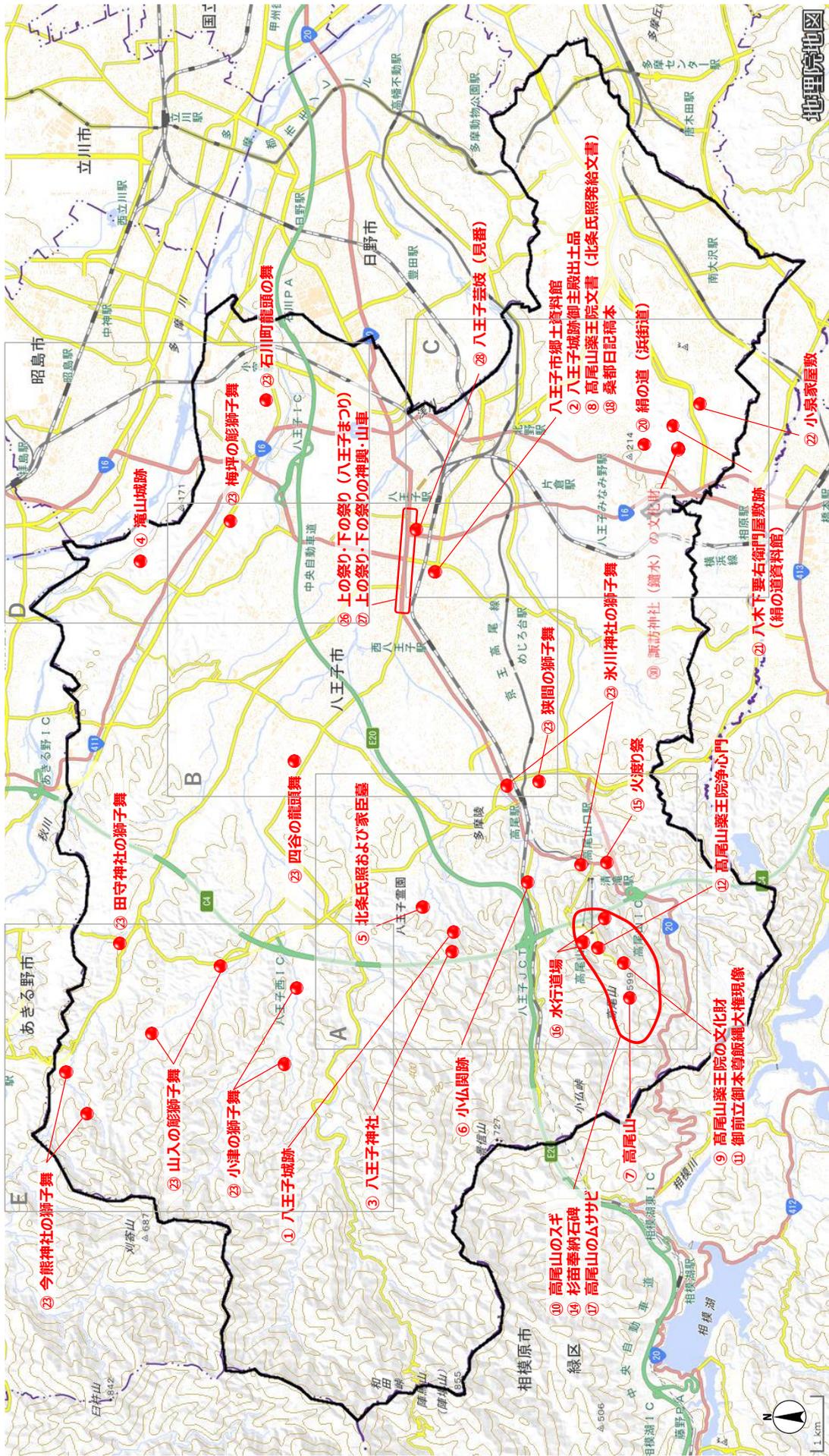
① 申請者	八王子市	② タイプ	地域型 / シリアル型 A B C D E
③ タイトル			
(ふりがな)	れいきまんざん たかおさん ~ひとびとのいのりがつむぐそうとものがり~		
霊気満山 高尾山 ~人々の祈りが紡ぐ桑都物語~			
④ ストーリーの概要 (200字程度)			
<p>八王子は、養蚕や織物が盛んだったことから「桑都」と称されました。甲州道中最大の宿場町となり、さまざまな文化を育みながら発展してきたまちの礎は、戦国時代末期に関東の覇権を握った北条氏の名将・北条氏照が、城下町を築いたことに遡ります。</p> <p>桑都の発展を支えた養蚕農家や絹商人は、氏照が武運を祈願し、いにしえより人々が霊山として崇めてきた高尾山を信仰し、大切に護ってきました。</p> <p>高尾山では、今も人々の祈りとともに、江戸時代に花開いた桑都の伝統文化が連綿と受け継がれています。</p>			
		 	

市町村の位置図(地図等)



# 構成文化財の位置図 (地図等)

## ●八王子市全域

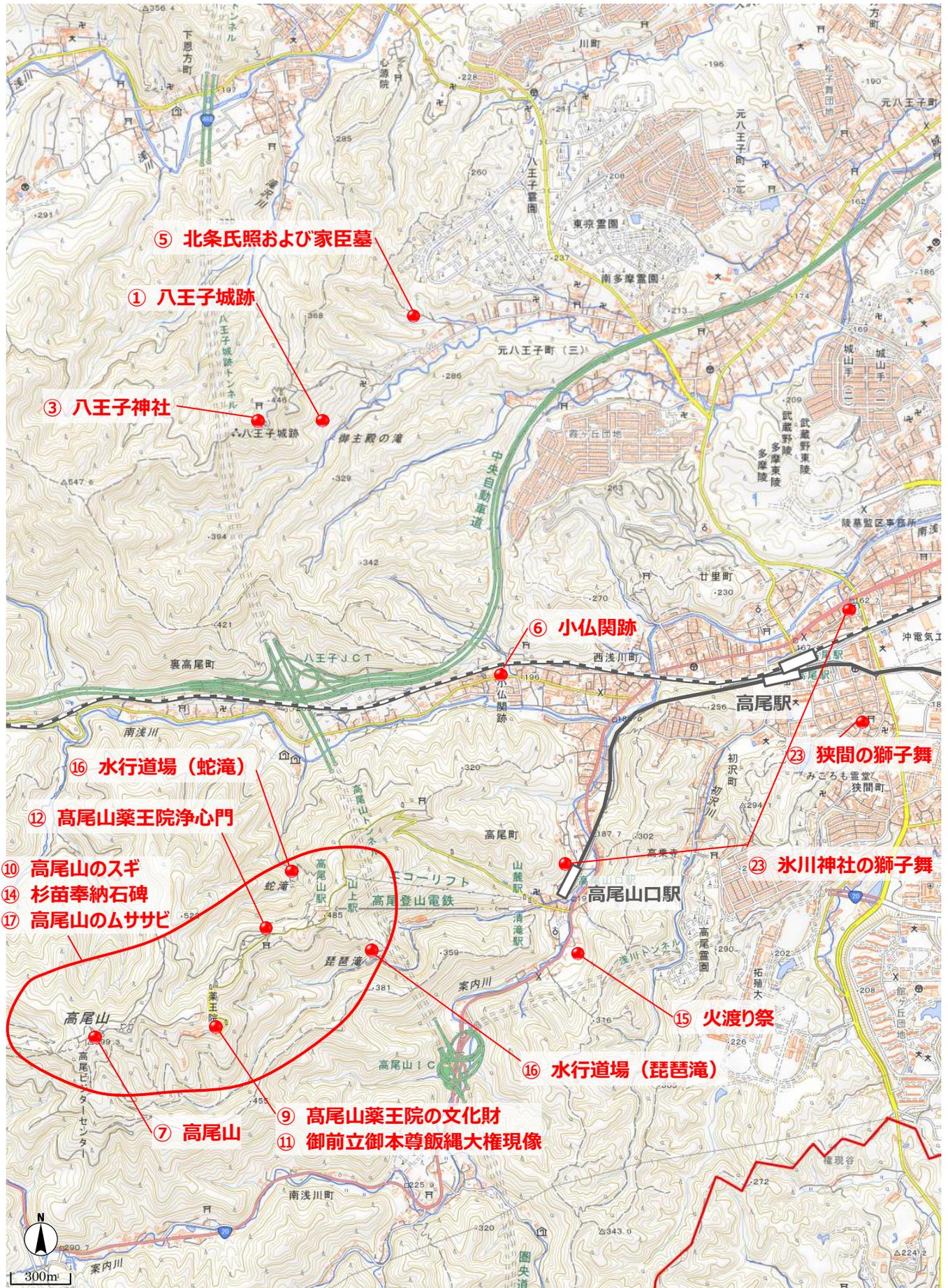


位置の示せない構成文化財

⑬養蚕守護札、⑱多摩織、⑳木遣、㉕八王子車人形および説経浄増塚、㉞桑都の銘酒

構成文化財の位置図(地図等)

A. 高尾山・八王子城周辺 拡大図



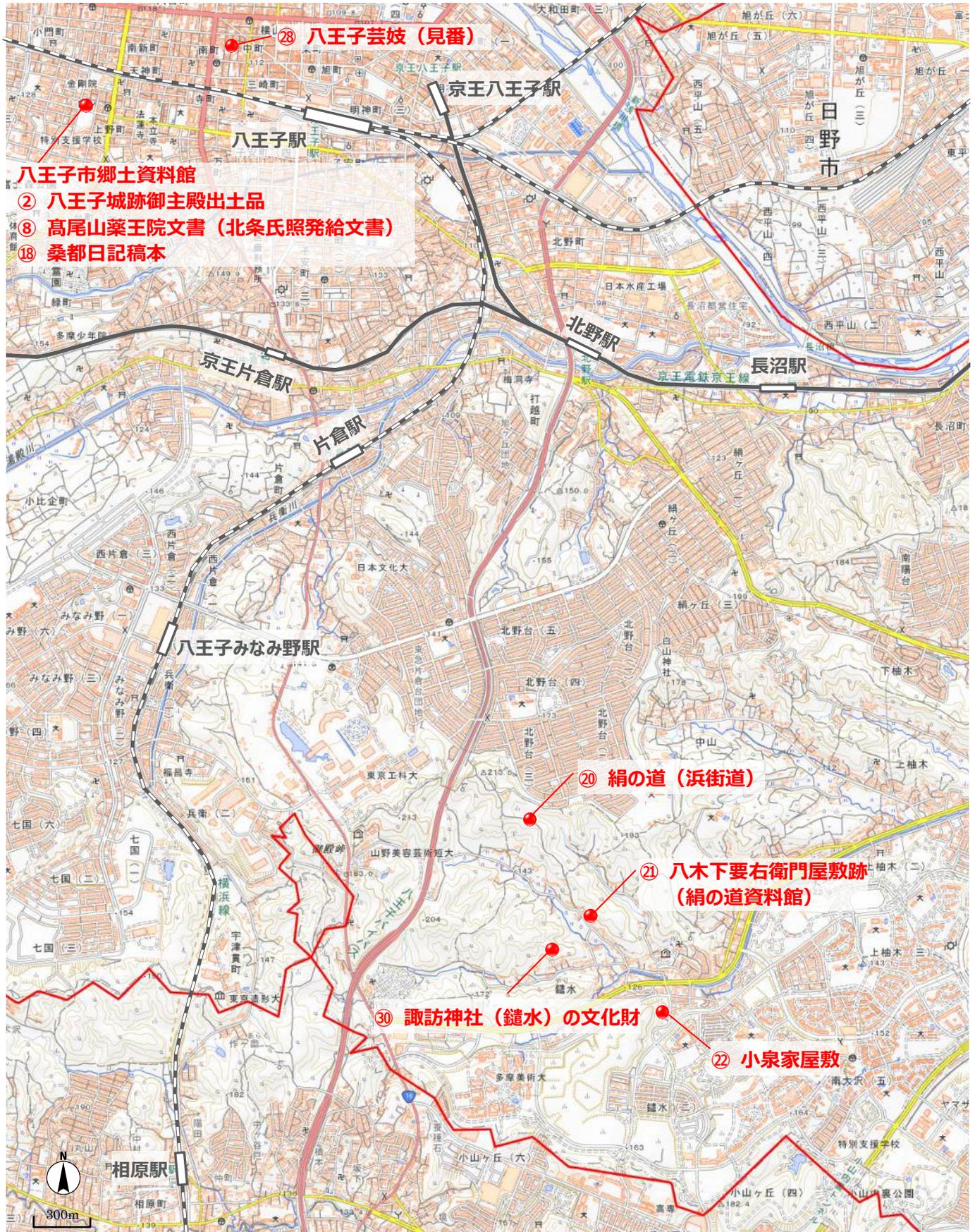
構成文化財の位置図(地図等)

B. 市街地周辺 拡大図



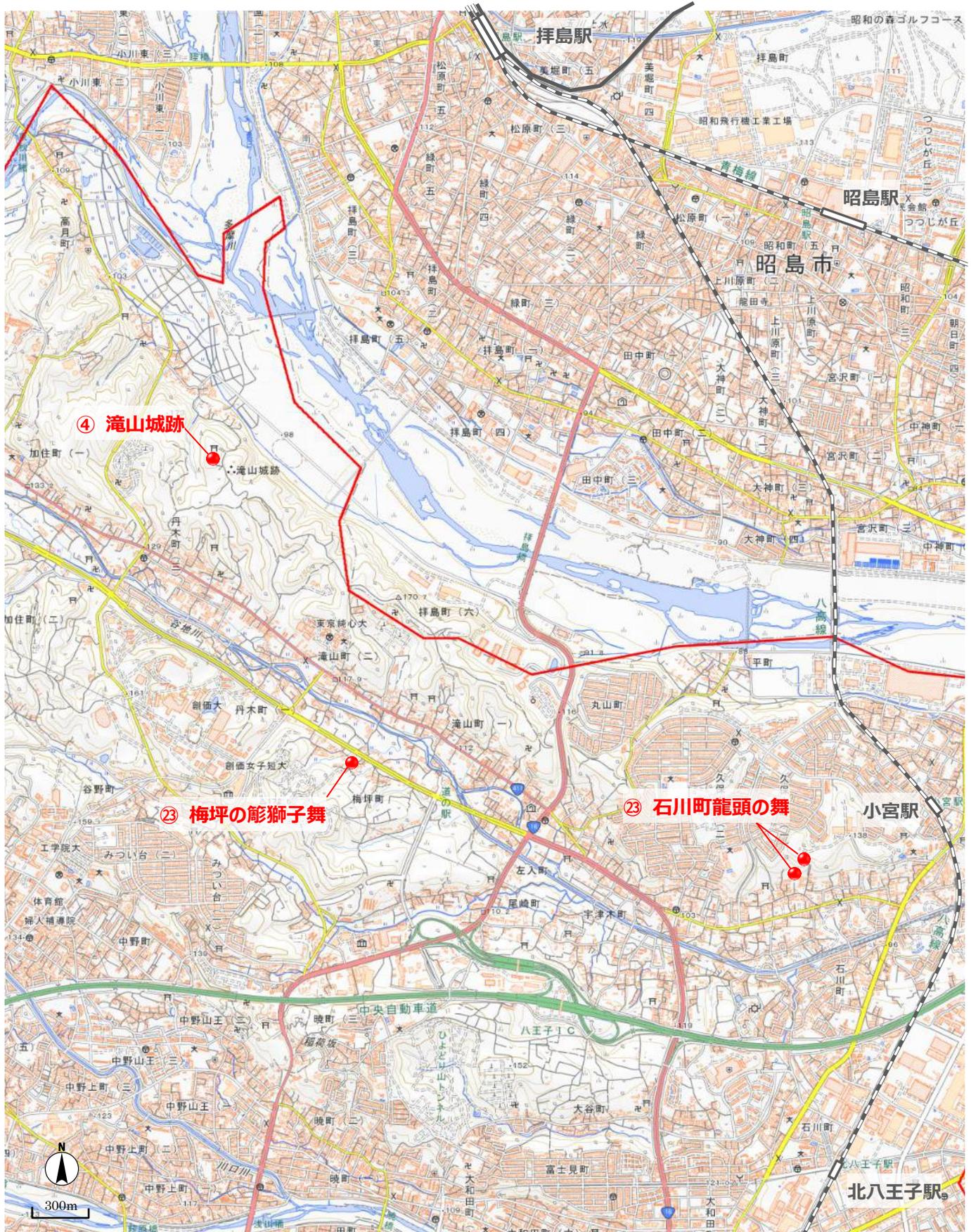
構成文化財の位置図(地図等)

C. 絹の道周辺 拡大図



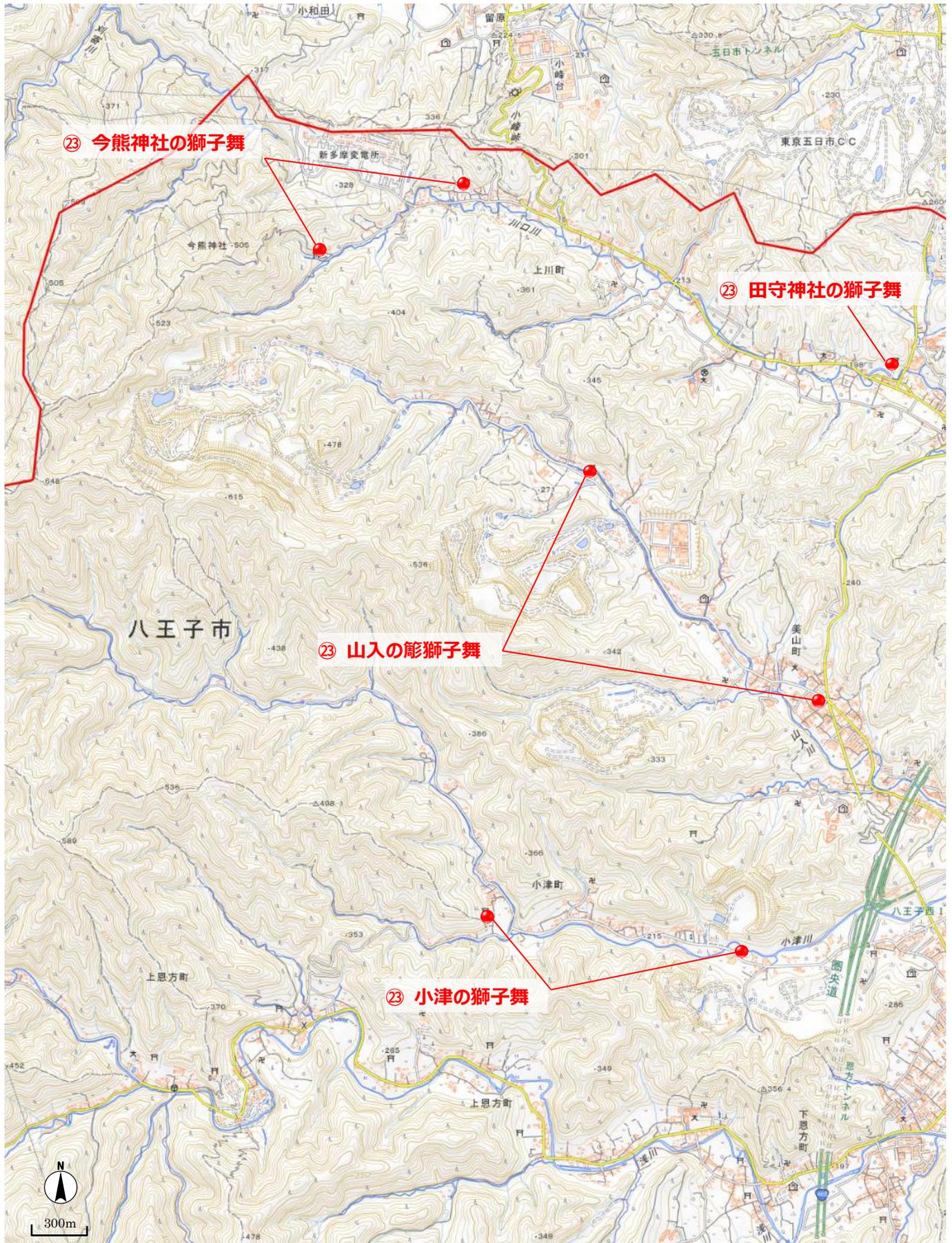
構成文化財の位置図(地図等)

D. 市北東部 拡大図



構成文化財の位置図(地図等)

E. 市北西部 拡大図



## ストーリー

絹産業を基盤として発展し“桑都”<sup>そうと</sup>と称された八王子。桑都の物語は、戦国時代に関東を治めた北条氏の名将・北条氏照<sup>ほうじょうてい</sup>が八王子に居城を築いたことから始まり、霊山・高尾山への人々の祈りが、この地に育まれた豊かな文化を未来へと紡いでいく物語です。

## 関東屈指の山城・八王子城

氏照は、武田信玄や豊臣秀吉らの進軍に備え、なだらかな丘陵地に築かれた滝山城から、急峻な地形に石垣を備えた関東屈指の山城・八王子城に居城を移しました。新たな城を築いた地は、八王子の名の由来となったといわれる八王子権現<sup>はちおうじごんげん</sup>を祀る聖地で、向かい合う高尾山を天然の要害とみため、甲州から八王子への進入路となる峠道を押さえることができる軍事的要衝でした。氏照が峠道を厳しく監視するために置いた「富士関」が、江戸時代に甲州道中で最も堅固な関所だといわれた「小仏関」<sup>こぼとけのせき</sup>として引き継がれたことから、この地がいかに重要な場所であったかということがわかります。

高尾山には、奈良時代に開山し、名だたる戦国武将から戦の神として信仰された飯縄大権現<sup>いづなだいごんげん</sup>を本尊とする薬王院<sup>やくおういん</sup>があります。氏照は武運を祈り、領地の寄進や、竹木伐採を禁じる制札の発給などによって、高尾山を篤く庇護しました。

江戸時代に書かれた『桑都日記』<sup>そうとにっき</sup>には、氏照が八王子城下の景勝地を選び、その情景を詠んだとされる「八王子八景」が記されています。八景のひとつ、「八王子城の秋月」には、城山から見た秋の月が、領地一帯を照らす様子が詠まれています。軍事と信仰の両面で重要な場所であったこの地に城を築き、領地を豊かに治めようとする自分の姿を、輝く月に重ねたのかもしれない。

## “桑都”八王子

氏照は、軍事防衛拠点としての山城づくりを進める一方、城下町の整備にも力を入れました。「八王子織物」の起源といわれる、織物の取引が行われた滝山城下の市<sup>いち</sup>は、八王子城下にも引き継がれました。八王子城落城をひとつのきっかけとして、日本の歴史は大きく動き、戦乱の時代は終焉を迎えましたが、江戸幕府が江戸西方の防衛や交通の要衝として整備した八王子宿にも、氏照が築いた城下町や市が移され、まちの礎が引き継がれました。

八王子宿は、絹産業を基盤に甲州道中最大の宿場町へと発展しました。大量の生糸が周辺の産地から八王子宿に集められ、幕末から明治期にかけて、輸出のために「絹の道」<sup>きぬのみち</sup>を通して横浜へ出荷されました。

絹産業の発展は「多摩織」<sup>たまおり</sup>という伝統工芸品を生み出しました。また、機織り<sup>はたおり</sup>とともに培われてきたものづくりの技術や職人たちの思いは、現代にも脈々と受け継がれ、絹産業のみならず様々な産業に新たな息吹をもたらしています。

「八王子八景」のひとつ、「桑都の晴嵐」<sup>せいらん</sup>には、桑畑が広がり養蚕が盛んに行われ、市が賑わっている様子が詠まれています。“桑都”として広く知られ、織物のまちとして発展した八王子の姿は、氏照が取り組んだまちづくりの萌芽が実を結んだものといえます。



八王子城跡



小仏関跡

御前立御本尊 飯縄大権現像  
(高尾山薬王院)

「桑都朝市」(『桑都日記』(部分))



多摩織

## 桑都の人々と高尾山

江戸時代、絹産業は高尾山薬王院への信仰と深く結びついていきました。養蚕農家は、大切な蚕を鼠から守るために「蚕守」の護符を薬王院に求めました。八王子宿を中心に生糸や織物を扱った絹商人は、周辺の養蚕農家や機屋、江戸の間屋に薬王院の護摩札の配札を取次ぎ、高尾山の信仰圏を拡大させる一翼を担いました。

人々は薬王院にご利益を求め、諸願成就の返礼として杉の苗木を奉納してきました。山内に建てられた数多くの石碑や、参道に並ぶ奉納板には、高尾山信仰の大きな特色であるこの「杉苗奉納」が、群馬や埼玉など絹産業と関係の深い人々によって行われ続けていることが記されています。山内を歩くと、絹産業の発展により広まった高尾山への信仰が今も連綿と受け継がれ、信仰とともに高尾山の自然が守られていることを実感することができます。

「八王子八景」のひとつ、「高尾の翠靄」には、山内に立ち込める靄が「翠靄（みどり色のもや）」と表現され、自然の豊かさと美しさ、そして厳かな霊山の空気感が詠まれています。氏照が愛でた、靈気に満ち緑豊かな「翠靄の景」は、昔も今も変わらぬ高尾山の大きな魅力です。

## 未来へと続く『桑都物語』

高尾山を篤く信仰し、桑都の礎を築いた氏照は、横笛の名手で、領地で五穀豊穰を祈り舞われる獅子舞を好み、家臣とともに月夜の宴を催したと伝えられています。氏照が居城とした八王子城の跡からは、落城から400年の歳月を経て、池のある庭園の遺構が築城当時の姿を現しました。ベネチア産レースガラス器をはじめとする数多くの舶来の品や茶器なども出土し、戦国武将の文化的、芸術的な素養を感じることができます。

桑都の発展は、豊かな文化を育みました。江戸時代の宿場町で、粋な町人は絢爛豪華な山車づくりを競い合い、まちを火事から守ったとびしゆく 鳶職は、江戸のきやりうた 木遣唄を継承しました。明治期以降、賑わう花街で八王子芸妓が絹商人をもてなし、農村の娯楽からまちの芸能へと発展した八王子車人形がもてはやされました。これらの伝統文化は、桑都とともに発展してきた今日の高尾山の年中行事で、欠かすことのできないものになっています。

高尾山の頂から関東平野を見渡すと、そこには北条氏の領地と、八王子を中心とした絹産業の経済圏、そして高尾山薬王院の信仰圏が重なり合っています。薬王院の参道にあるじょうしんもん 浄心門には「れいきまんざん 靈気満山」の扁額が掲げられ、へんがく 法螺貝の音が響き渡る山内の「おおすぎはら 大杉原（杉並木）」からは『いのち 靈気＝生命の力』を感じることができます。

氏照が築いた戦国の山城・八王子城から始まり、魅力ある“桑都文化”を育んできた物語は、今日、世界中の人々を魅了している高尾山で、僧侶や山伏が靈気に満ちた山と結んだ人々の祈りによって、未来に向かって紡ぎ続けられています。



養蚕守護の護符



参道に立ち込める“高尾の翠靄”と杉苗奉納の奉納板



薬王院境内で舞われる獅子舞



浄心門と雪化粧した参道



高尾山への祈り  
(八王子芸妓による舞扇供養)

## ストーリーの構成文化財一覧表

番号	ふりがな 文化財の名称 (※1)	指定等の状況 (※2)	ストーリーの中の位置づけ (※3)	文化財の所在地 (※4)
①	はちおうじじょうあと 八王子城跡	国史跡	<p>天正 10～15 年(1582～1587 年)頃に、 ほうじょううじてる 北条氏照により築城された小田原北条氏 最大の支城です。築城から 10 年経たずに 落城したため、発掘された遺構・遺物の時代を 特定できる点で極めて貴重な遺跡です。戦国 末期の石垣をはじめとする山城の様相を遺し、 御主殿跡や古道などが復元され、戦国時代の 山城を体感することができます。麓には、「八 王子城跡ガイダンス施設」があり、 かっちゅう ほうじょう 甲冑体験や北条氏と城の歴史を知ることが できます。</p> <p>(日本 100 名城選定)</p>	
②	はちおうじじょうあと 八王子城跡 ごしゅでんしゅつどひん 御主殿出土品	未指定 (考古資料)	<p>出土した遺物は約 7 万点にのぼります。 出土品からは戦国時代の生活や城での戦いの 様相などをうかがうことができます。国内で 他に例のないベネチア産のレースガラス器を はじめ数多くの舶来品も出土したことは、 北条氏照が有力な戦国武将であったことの証 でもあります。出土品は郷土資料館で展示 しています。</p>	
③	はちおうじじんじゃ 八王子神社	未指定 (建造物)	<p>延喜 16 年(916 年)、みょうこう 妙行という僧が庵を立て、 ごすてんのう 牛頭天王と 8 人の王子を祀り、八王子権現 と称したと伝えられています。北条氏照が この地に城を築いた際に、守護神として 八王子権現を祀りました。</p> <p>山頂本丸付近の現在の社殿は江戸時代 末期に建てられたものです。</p>	

④	たきやまじょうあと 滝山城跡	国史跡	北条氏照が八王子城を築城する前に居城としていた城。永禄 12 年(1569 年)、武田信玄の大軍勢による侵攻を少数の兵力で防ぎましたが、その後の西方からの進軍に備え、より守備堅固な山城・八王子城を築きました。空堀や土塁などの遺構が状態よく残り、スマートフォンアプリ「AR滝山城跡」により、城の歴史についてAR(拡張現実)を使って体感することができます。 (続日本 100 名城選定)	
⑤	ほうじょううじてる かしんはか 北条氏照および家臣墓	都旧跡	北条氏照百回忌を機に、氏照の家臣であった中山家範の子孫によって建てられた、氏照と家範らの供養塔が、周囲の 50 を超える石碑・石仏群とともに、竹林の中にひっそりと佇んでいます。	
⑥	こぼとけのせきあと 小仏関跡	国史跡	北条氏照が武蔵国と相模国境の要衝として小仏峠に高尾山の木材を利用し関所を築いたのが小仏関のはじまりです。その後関所は峠の麓に移され、北条氏滅亡後は、徳川家康によって、甲州との国境として厳重に警固されました。旧甲州街道沿いには古民家が点在し、峠道は古道の面影を残しています。	
⑦	たかおさん 高尾山	未指定 (名勝地)	いにしえより修験道の霊山として崇められ、北条氏照は、竹木伐採を禁止するなど、高尾山を信仰するとともに守ってきました。 徳川幕府も引き続き保護したことなどにより、豊かな自然が残されています。 山麓には「高尾 599 ミュージアム」があり、高尾山の歴史や自然を学ぶことができます。また、薬王院の年中行事などでは、木遣や獅子舞、八王子車人形、八王子芸妓など桑都文化に触れることができます。	

⑧	たかおきんやくおういんもんじよ 高尾山薬王院文書 ほうじょううじてるはつきゅうもんじよ (北条氏照発給文書)	都有形 (古文書)	薬王院には、中世の頃からの文書が多く残されています。北条氏照が発給した文書には、山内の竹木・下草の伐採を禁じた制札や境内での押買狼藉を禁じた制札、寺領の寄進状などがあり、氏照が高尾山を篤く保護したことがわかります。	
⑨	たかおきんやくおういん ぶんかざい 高尾山薬王院の文化財	都有形 (建造物 ・彫刻)	薬王院は、天平 16 年(744 年)行基菩薩 <sup>ぎょうきぼさつ</sup> によって開山されたといわれ、薬王院 <sup>やくおういん</sup> 飯縄権現堂 <sup>いづなごんげんどう</sup> をはじめ、境内の 4 つの建造物と 2 体の仏像が東京都の有形文化財に指定されています。境内には鳥居が建ち、神仏習合の名残を強くとどめています。	
⑩	たかおきん 高尾山のスギ	都天然記念物 市天然記念物	高尾山には樹齢 700 年といわれるスギの巨樹が存在し、スギ並木は参道の景観を一層引きたてています。 スギにまつわる様々な伝説も残されています。江戸時代末期に幕府の代官江川太郎左衛門が植えた人工林も残されています。	
⑪	おまえだちごほんぞん 御前立御本尊 いづなだいごんげんぞう 飯縄大権現像	未指定 (彫刻)	神仏習合の名残をとどめる薬王院には、本社と本堂に、それぞれ御本尊の「飯縄大権現」が奉祀されています。 飯縄大権現は、北条氏のみならず武田信玄や上杉謙信などの戦国武将からも厚く信仰されました。	
⑫	たかおきんやくおういんじょうしんもん 高尾山薬王院浄心門	未指定 (建造物)	薬王院参道の入り口に建つ門は、仏教寺院でありながら神社の鳥居の形を成しています。 門には「靈氣満山 <sup>れいきまんざん</sup> 」の扁額が掲げられ、ここから先が聖域であることを示しています。	
⑬	ようさんしゅごふだ 養蚕守護札	未指定 (風俗慣習)	薬王院は、蚕を鼠から守る札を頒布し、養蚕農家からの信仰を集めました。 せんにんどうしん <sup>せんにんどうしん</sup> うえだもうしん <sup>うえだもうしん</sup> 千人同心組頭の植田孟縉が文政 6 年(1823 年)に編さんした地誌『武蔵名勝 <sup>むさしめいしょう</sup> 図会』にも「鼠口留秘符」という護札に関する記述が残されています。	

⑭	すぎなえほうのうせきひ 杉苗奉納石碑	未指定 (民俗資料)	古来、人々が諸願成就の返礼として行ってきた杉苗奉納は、人と山とが持続的に関わり、山を大切にしてきた証であり、高尾山信仰の大きな特色です。山内のいたるところに石碑が建ち、参道の杉苗奉納板とともに薬王院の信仰圏の広がりを物語っています。	
⑮	ひわた さい 火渡り祭	未指定 (風俗慣習)	薬王院が執り行う大規模な護摩法要で、「護摩木」という木札を焚いてその上を素足で渡り、除災開運を願う行事です。毎年3月に開催され、修験者に続いて、一般の人も火渡りを体験することができます。	
⑯	すいぎょうどうじょう 水行道場	未指定 (風俗慣習)	山岳信仰に由来する滝への崇拜と結びついたのが「滝行」です。蛇滝と琵琶滝は、薬王院の水行道場として使われています。現在も、修験者による滝行が行われ、年間を通じ、一般の人も修行することができます。	
⑰	たかおさん 高尾山のムササビ	未指定 (動物)	江戸時代に編さんされた『武蔵名勝図会』には、高尾山のムササビが描かれており、昔から親しまれてきた高尾山を象徴する動物です。 観察会も開催され、日没後や日出前に薬王院周辺などで、巣穴から顔を出す様子や木々の間を滑空する姿を見ることができます。	

⑱	そうとにつきこうほん 桑都日記稿本	都有形 (古文書)	<p>千人同心組頭<small>しおのてきさい</small>の塩野適齋が著した、天正 10 年(1582 年)から文政 7 年(1824 年)に至る千人同心の歴史を記述した書物で、当時の地形、気候、文化、産業の歴史などを知るうえで貴重な史料です。</p> <p>八王子が桑都と呼ばれた由縁や、北条氏照が城下の景勝地の情景を詠んだと伝えられる「八王子八景」などが記述されています。</p> <p><b>八王子八景</b></p> <p>八王子城の秋月(八王子城跡(国史跡))          桑都の晴嵐(八王子郷)          高尾の翠靄(高尾山)          山田の落雁(広園寺(都有形(建造物)))          水崎の夜雨(龍泉寺)          浅川の帰釣(浅川)          十里の暮雪<small>とどり</small>(廿里古戦場(市旧跡))          大戸の晩鐘(大戸観音堂)</p>	
⑲	たまおり 多摩織	未指定 (工芸技術)	<p>八王子織物の起源は、滝山城下で取引された頃といわれ、400 年以上の歴史の中で改良・工夫されてきました。八王子を中心とした地域で織られた伝統織物は、「多摩織」として、昭和 55 年(1980 年)に国の伝統的工芸品に指定されました。</p> <p>八王子繊維貿易館では、展示・販売や、手織り体験のイベントを行っています。</p>	
⑳	きぬ みち 絹の道(浜街道)	市史跡	<p>安政 6 年(1859 年)の横浜開港により、八王子に集められた輸出用の生糸は、浜街道を通り、横浜に運ばれました。欧米人が養蚕や絹産業の視察に八王子を訪れ、観光を目的に高尾山の登山も楽しみました。往時の景観をよく残しているこの道は、後に「絹の道」と呼ばれ、「歴史の道百選(浜街道-鐘水峠越)」に選定されています。</p>	

⑳	やぎしたようえもんやしきあと 八木下要右衛門屋敷跡 (絹の道資料館)	未指定 (史跡)	絹の道のある <sup>やりみず</sup> 鑪水の生糸商人は、生糸取引により財を築きました。その一人、八木下要右衛門は見事な石垣のある屋敷を築き、「石垣大尽」 <sup>いしがだいじん</sup> とも呼ばれました。敷地内の書院は、別名「異人館」と呼ばれ、八王子に訪れた外国人をもてなす場所でした。現在は、屋敷跡に「絹の道資料館」が建てられ、絹の道や養蚕・製糸に関する資料が展示されています。	
㉑	こいずみけやしき 小泉家屋敷	都有形民俗 (民俗資料)	絹の道近くに今も残る、かつて養蚕農家だった古民家です。現在の母屋は明治11年(1878年)に再建されたもので、茅葺き入母屋造りで、多摩地域に旧来からみられる典型的な民家建築の様式です。周辺の田園風景とともに、横浜港開港後に絹の道を通った欧米人が目にした景観が、今も残されています。	
㉒	はちおうじ ししまい 八王子の獅子舞	市無形民俗 (郷土芸能)	北条氏照から獅子頭を拝領して始まったと伝えられる「狭間の獅子舞」をはじめ、市内には9つの三匹獅子舞があります。五穀豊穡や悪霊退散を祈願し、各地域の寺社の祭礼や高尾山薬王院の春季大祭で舞が奉納されます。	
㉓	きやり 木遣	市無形民俗 (郷土芸能)	八王子に伝承されている木遣は、江戸木遣の流れを汲み、元治元年(1864年)に江戸の木遣師が伝授したといわれています。保存会の八王子消防記念会は、天保年間に八王子の <sup>とびしよく</sup> 鳶職が継承した高尾山薬王院への講詣りを引き継ぎ、春季大祭で、木遣唄やはしご乗りを奉納しています。	

②⑤	<p>はちおうじくるまにんぎょう 八王子車人形</p> <p>および</p> <p>せつきょうじょうり 説経浄瑠璃</p>	<p>八王子車人形 国重要無形民俗 (民俗芸能)</p> <p>説経浄瑠璃 都無形 (芸能)</p>	<p>八王子車人形は、江戸時代末に考案され、一人の人形遣いがロクロ車に腰かけて一体の人形を繰り演じるのが特徴です。</p> <p>養蚕や織物で発展した八王子の農村部の娯楽として人気を博し、機業家などが熱心に後援しました。</p> <p>高尾山薬王院の節分会<sup>ついなしき</sup>追儺式にも参加し、桑都の伝統芸能の魅力を伝えていきます。</p> <p>中世から伝わる語り芸能の説経浄瑠璃は、江戸時代中期に三味線芸能として完成され、八王子では人形芝居などと一緒に興行されるようになりました。</p>	
②⑥	<p>かみ まつり ・ しも まつり 上の祭り・下の祭り</p> <p>はちおうじ (八王子まつり)</p>	<p>未指定 (風俗慣習)</p>	<p>多賀神社の「上の祭り」と八幡八雲神社の「下の祭り」の宮神輿渡御と氏子町内による山車巡行は、江戸時代から継承されています。両神社による神事と町人文化、鳶職による木遣、江戸を流派とする祭囃子や芸妓文化が融合した今日の祭りの形態は、桑都和称され絹産業で繁栄したまちの歴史を物語っています。</p> <p>現在では、両祭りを統合し「八王子まつり」として桑都の伝統文化を代表するものとなっており、往時のまつりの熱気を体感することができます。</p>	
②⑦	<p>かみ まつり ・ しも まつり 上の祭り・下の祭りの</p> <p>みこし だし 神輿・山車</p>	<p>神輿 2 (1) 基 山車 19 (12) 台 山車人形 8 (5) 体</p> <p>有形文化財 (工芸品) ※ ( ) は そのうち 市指定の数</p>	<p>多賀神社と八幡八雲神社の祭礼における神輿渡御は江戸時代中期から継承されています。江戸時代後期には絹織物業による経済基盤を背景に両神社の氏子町内は競い合うように絢爛豪華な山車を建造しました。地元の宮大工の建築技術に江戸の山車人形を移入し、八王子独自の山車文化を築きました。</p> <p>町民の山車建造の熱意は現在にも引き継がれ、「関東屈指の山車まつり」として広く知られるようになり、建造時代の変革とともに3つの型式による19台の八王子型山車の曳きまわしを見ることができます。</p>	

⑳	はちおうじげいぎ 八王子芸妓	未指定 (芸能)	織物のまちとして繁栄した八王子には、花街が置かれ、全国から商人が織物を買付けに訪れ、桑都の商人たちは料亭で客人をもてなしました。戦前には観光地としての高尾山ももてなしの場となりました。 薬王院の秋季大祭では、「舞扇供養 <sup>まいせんくよう</sup> 」が行われ、芸妓衆の薬王院への深い信仰を知ることができます。芸妓衆は、桑都の歴史を唄や踊りを通じて連綿と伝えています。八王子まつりをはじめ市内の様々な行事でも芸妓衆の舞踊を見ることができます。	
㉑	そうと めいしゅ 桑都の銘酒	未指定 (生活文化)	桑都の山々を源流とし、多くの河川と豊かな伏流水に恵まれ、北条氏照の家臣の子孫が 200 年以上前に酒造りを始めたと伝わるなど、八王子は古くから酒造りが盛んでした。 薬王院の御神酒 <sup>ごじんしゅ</sup> でもある「高尾山」をはじめ、「桑乃都」「八王子城」「氏照」「高尾の天狗」など郷土ゆかりの銘柄が付けられた日本酒は、桑都の人々に愛され続けられています。	
㉒	すわじんじや やりみず 諏訪神社 (鑑水) の ぶんかざい 文化財	市有形 (建造物) 未指定 (歴史資料)	八木下要右衛門ら鑑水商人の名が刻まれた石造物や、鑑水商人が寄進した緻密で絢爛豪華な彫刻や組物が施された社殿などを、絹の道や八木下要右衛門屋敷跡(絹の道資料館)と併せて見て歩くことで、桑都・八王子の発展の一翼を担った鑑水商人が繁栄した様子を実感することができます。	

(※1) 文化財の名称には振り仮名を付けること。

(※2) 指定・未指定の別、文化財の分類を記載すること(例:国史跡、国重文(工芸品)、県史跡、県有形、市無形、市史跡、未指定(建造物)、等)。なお、**未指定であっても文化財保護の体系に基づいた分類を記載**すること。

(※3) 各構成文化財について、ストーリーとの関連を簡潔に記載すること(単に文化財の説明にならないように注意すること)。

(※4) ストーリーのタイプがシリアル型の場合のみ、市町村名を記載すること(複数の都道府県にまたがる場合は都道府県名もあわせて記載すること)。

## 構成文化財の写真一覧

はちおうじじょうあと  
① 八王子城跡



はちおうじじょうあとごしゅでんしゅつどひん  
② 八王子城跡御主殿出土品



③ はちおうじんじや  
八王子神社



④ たきやまじょうあと  
滝山城跡



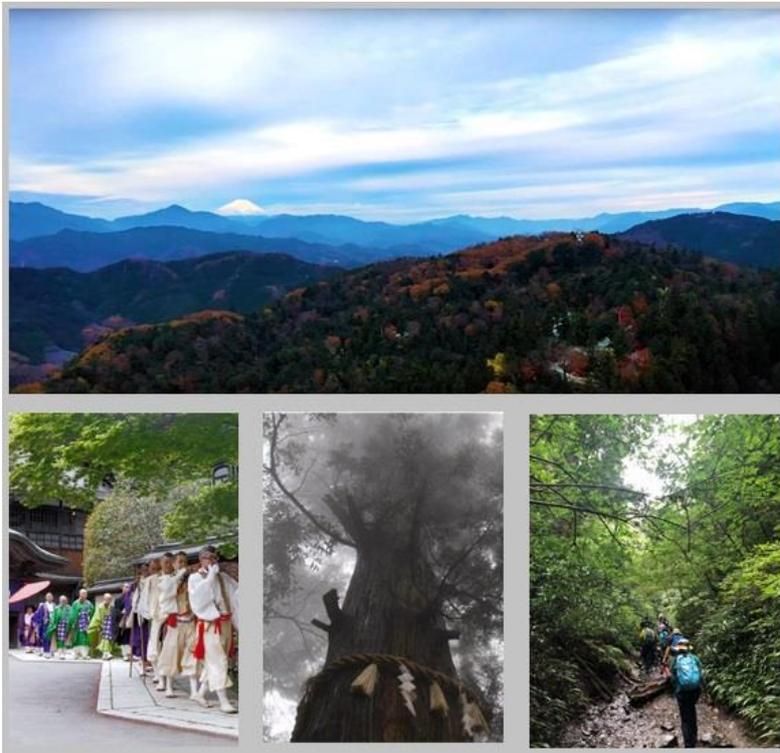
⑤ ほうじょうじてる かしんはか  
北条氏照および家臣墓



⑥ こぼとけのせきあと  
小仏関跡



⑦ たかおさん  
高尾山



- たかおさんやくおういんもんじよ ほうじょううじてるはつきゅうもんじよ  
⑧ 高尾山薬王院文書 (北条氏照発給文書)



北条氏照が薬王院に竹木・下草の伐採を禁じ、違反者は滝山（氏照の居城）に連行するよう命じた文書

- たかおさんやくおういん ぶんかざい  
⑨ 高尾山薬王院の文化財 (建造物・彫刻)

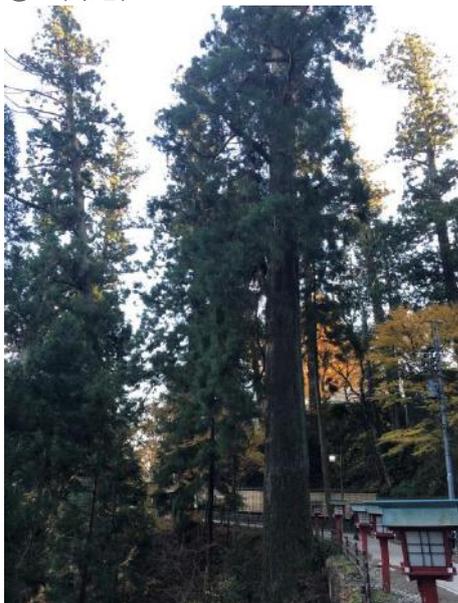


薬王院 飯縄権現堂



木造不動明王及び二童子立像

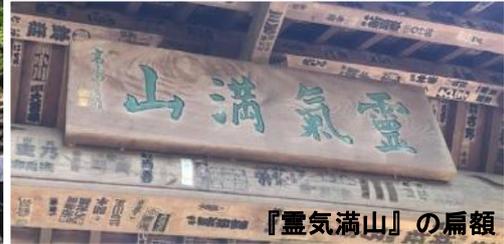
- たかおさん  
⑩ 高尾山のスギ



- おまえだちごほんぞん いつなだいごんげんぞう  
⑪ 御前立御本尊 飯縄大権現像



たかおさんやくおういんじょうしんもん  
⑫ 高尾山薬王院浄心門



『靈気満山』の扁額

ようさんしゅごふだ  
⑬ 養蚕守護札



すぎなえほうのうせきひ  
⑭ 杉苗奉納石碑



ひわた さい  
⑮ 火渡り祭



すいぎょうどうじょう  
⑩ 水行道場

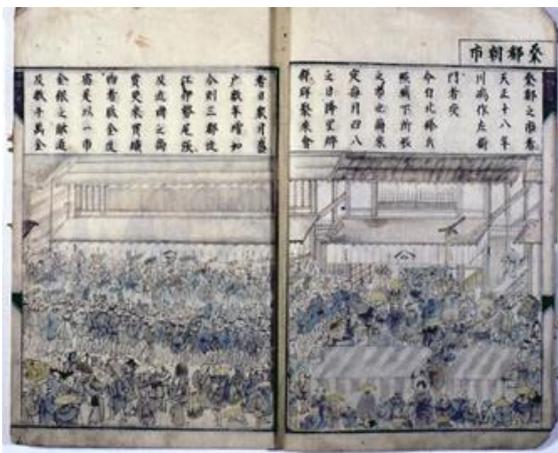


たかおさん  
⑪ 高尾山のムササビ



『武蔵名勝図会』に描かれた  
高尾山のムササビ  
(日野市寄託 (個人蔵))

そうとにつきこうほん  
⑫ 桑都日記稿本



たまおり  
⑬ 多摩織



⑳ きぬ みち はまかいどう  
絹の道 (浜街道)



㉑ やぎしたようえもんやしきあと きぬ みちしりょうかん  
八木下要右衛門屋敷跡 (絹の道資料館)



㉒ こいずみけやしき  
小泉家屋敷



㉓ はちおうじ ししまい  
八王子の獅子舞



㉔ きやり  
木遣



はちおうじくるまにんぎょう      せっきょうじょうるり  
㊸ 八王子車人形および説経浄瑠璃



かみまつ      しもまつ      はちおうじ  
㊹ 上の祭り・下の祭り (八王子まつり)



⑳ かみまつ しもまつ みこし だし  
上の祭り・下の祭りの神輿・山車



㉘ はちおうじげいぎ  
八王子芸妓



㉙ そうと めいしゅ  
桑都の銘酒



すわじんじゃ やりみず ぶんかざい  
③〇 諏訪神社 (鑿水) の文化財



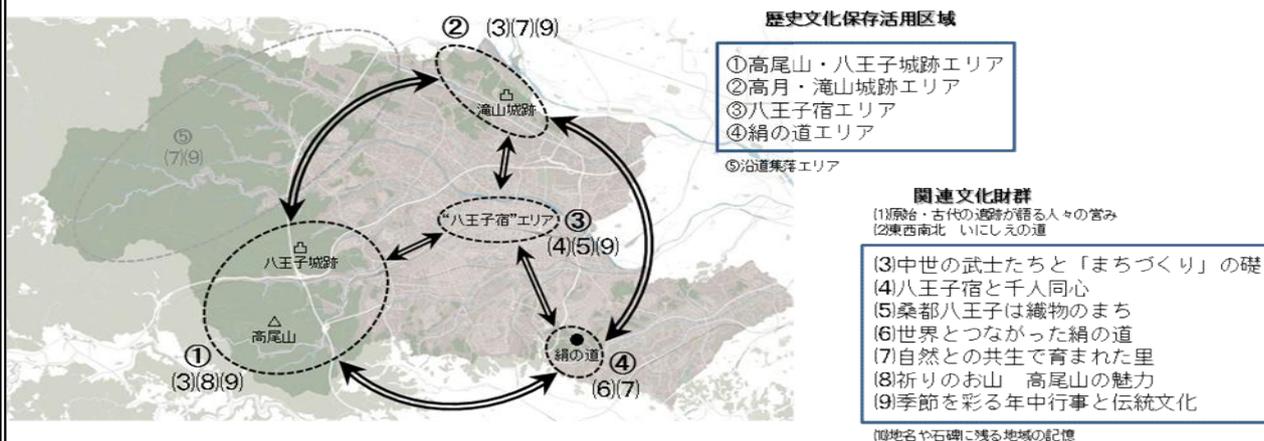
## 日本遺産を通じた地域活性化計画

### (1) 将来像 (ビジョン)

令和2年1月に策定した歴史文化基本構想に基づき、文化財保存活用地域計画を早期に策定し、地域の活性化やシビックプライドの醸成を図ること等を目的とした「歴史文化を活かしたまちづくり」を推進し、持続可能な文化財の保存・活用を図る。

日本遺産については、「八王子市基本構想・基本計画」(2018年改定)に掲げる基本施策「未来につながる文化の継承と創造」及び「まちの魅力を向上させる産業」を実現するための施策とし、日本遺産事業の実施にあたっては、「基本構想・基本計画」に掲げた各分野の施策との整合を図り、効果的に推進する。

(文化財保存活用地域計画には、歴史文化基本構想で設定した10の関連文化財群と5つの歴史文化保存活用区域にかかる措置内容及び日本遺産の認定内容を明記)



日本遺産ストーリーがつなぐ歴史文化保存活用区域と関連文化財群

市内の2つの中世城郭(八王子城跡・滝山城跡)の魅力进行调查や整備によって高めるとともに、日本遺産を通じてその魅力に対する認知度を高め、より多くの人に訪れてもらうことを目指す。2つの城郭の城主・北条氏照の民政的・文化的な功績、痕跡をたどることを通じて、日本で唯一「桑都」と称され、絹産業を基盤として発展した八王子の歴史・文化を「高尾山」とのつながりで語り、首都・東京にある日本遺産のまち・八王子の新たな魅力を発信する。

認知度の高い高尾山をはじめ、本市の豊かな歴史文化資源を最大限に活用して、関係人口、交流人口を増やし、その魅力が市民の誇りとなり、来訪者に「また訪れたい」と思ってもらえるきっかけづくりを行い、市内外に“八王子ファン”が増え、多くの人々に愛され続けるまちとなることを目指す。

#### 八王子の未来

##### ①市民の郷土愛を育む

八王子では、中心市街地をはじめ各地域で伝統文化や祭礼を受け継いでいる市民が多くいる一方で、都心からのアクセスの良さから移り住んできた市民や市内の大学等に通うために転入してきた学生等、八王子市や地域とのつながりを十分に持っていない市民もいる。次代を担う子どもたちをはじめ市民全体が、日本遺産ストーリーをきっかけとして八王子の魅力を再認識し、ふるさと八王子に誇りと愛着をもち、八王子に住み続けることを目指す。

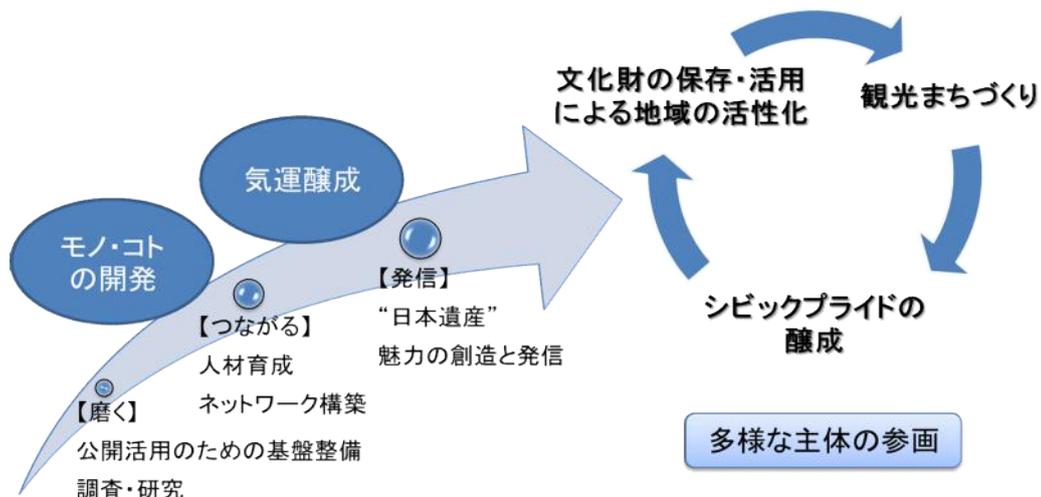
##### ②関係人口を増やす

日本遺産を通じた地域活性化計画により、市民と学生や団体、企業等がつながり、主体的に地域を盛り上げるための活動を展開することで地域が活性化し、地域の人々と関わり、地域のために動こうとする「関係人口」が増えていくことを目指す。

##### ③地域産業や経済を活性化させる

日本遺産ストーリーや歴史文化資源をエクスカッションやユニークベニューに活用してMICE誘致戦略を推進するとともに、地域産品を活用した商品開発、6次産業化や異業種連携等の取組を展開し、地域産業や経済の活性化を図る。

## (2) 地域活性化のための取組の概要



### 1. 観光まちづくり整備推進(デザイン・ブランディング)

#### 取組① 構成文化財の訴求力強化

◆日本遺産ストーリーを構成する文化財の魅力・訴求力の強化及び案内板の設置等公開活用のための整備を行う。

新たに「(仮称)日本遺産センター」を設置(令和2年度開設予定)するとともに、既存施設を活用し、日本遺産を「知る・学ぶ・体験する・つながる」ための拠点整備を行う。

◆スマートフォン等と連携した案内板(多言語対応)の設置や、城跡における樹木伐採等の景観整備

◆国史跡・八王子城跡及び滝山城跡の継続的な整備推進による新たな魅力づくり

(新たな遺構や出土品、発掘現場の公開・活用等)

#### 取組② 様々な主体の連携強化及び人材育成

◆企業等によるCSRやSDGs、まちづくりに関わる活動との連携により、多様な主体の参画を促進し、新たな人材の発掘を行う。

◆市内で活動する様々な団体等の情報の集約や、それぞれの活動の連携(ネットワーク化)を促進する。

◆大学コンソーシアム八王子や、市内に21ある大学等及び学生との連携を促進する。

(活性化事業推進のための調査研究における産官学連携の推進、日本遺産を素材にしたフィールドワークの推進、大学生・留学生によるガイドボランティア等)

◆地域リーダーや「(仮称)日本遺産子どもガイド」の育成を行う。

#### 取組③ 地域ブランディング戦略に基づく商品(モノ・コト)の開発

◆農業(八王子産野菜や「江戸東京野菜」)・酪農・織物業等の産業を基盤に、食の提供や物産のブランド化、ものづくり、6次産業化等によって観光サービスを強化する。

◆日本遺産ストーリーに基づく、文化財の一体的なプロモーション展開と連動した新たな商品開発を行う。

### 2. 日本遺産魅力発信(プロモーション)

#### 取組④ 日本遺産ストーリー・構成文化財の情報発信

◆MICE参加者や外国人等ターゲットを設定し、ターゲットに応じた効果的な情報発信を行う。

◆SNSや市民力(日本遺産応援団やさまざまな市民のネットワーク)を活用した情報の拡散を図る。

◆各ガイドラインに準拠した多言語に対応した情報の発信を行う。

◆桑都文化(八王子車人形、獅子舞、八王子芸妓等)の情報発信

#### 取組⑤ 歴史文化資源の普及・啓発

◆日本遺産ストーリーを活用した歴史文化学習を推進し、義務教育・高等教育・生涯学習の様々な機会において地域のことを知り、学ぶことができる環境を整備する。

◆すべての子どもたちが八王子の歴史文化に触れ、郷土への誇りと愛着が育まれるよう、学校給食における「歴史文化献立(はちおうじ物語献立)」の提供を通じ、日本遺産の啓発を行う。

◆転入者や学生(留学生を含む)に対して、地域の歴史文化資源の存在やその保存・活用の取組についての周知・啓発を充実させる。

◆整備計画が進んでいる産業交流拠点(コンベンションセンター/令和4年度開設予定)や新郷土資料館等における、展示・体験・情報発信を積極的に展開する。

#### 取組⑥ 新たな魅力の創出

◆桑都文化(八王子車人形、獅子舞、八王子芸妓等)を活用した体験・体感の機会を充実するとともに、構成文化財の組み合わせにより新たな魅力を創出する。

◆文化財保存活用区域等を活用し、地域的、季節的にまだ資源化されていない新たな魅力を創出する。

(3) 自立的・継続的な取組

1. ネットワークの構築

- ◆MICE推進事業と連携したインバウンド環境の整備
- ◆パートナーシップ形成のため、SNS等を活用し関係市民間のネットワークの構築を行う。
- ◆歴史的、地理的な関係を活かした自治体間、地域間、団体間の連携を強化する。  
(例：姉妹都市、高尾山・リニア地区等)

2. 地域力の活用

- ◆ふるさと納税の運用（八王子の歴史文化を活かした返礼品の充実）
- ◆高尾山応援基金（高尾山の魅力を未来へ継承することを目的とした民間の基金）の運用
- ◆地元の交通業者、旅行業者との連携による日本遺産ストーリーを巡るツアーの開発
- ◆市内活動団体による商品開発、物販の促進
- ◆桑都文化（八王子車人形、まつり、八王子芸妓等）に関わる市民や後援者と連携した気運醸成
- ◆ボランティアガイドをはじめとする“地域の担い手”の育成、ガイドの収益化の検討
- ◆観光大使等の活用や「(仮称)日本遺産市民応援団」の結成、地元ユーチューバーの育成や活用
- ◆地域密着メディア（ケーブルテレビ、コミュニティFM）の活用

- 【1年目】推進協議会の設立～推進事業の着手～MICEや関連事業者との連携等周辺基盤の整備
- 【2～3年目】推進事業の推進、関連事業者による自主的な事業の促進
- 【4年目～】観光コンベンション協会が主体となり、観光振興事業（市の補助事業）として日本遺産推進を行っていく。基金の運用やガイドの収益等自主財源の確保等収益事業につなげていく。

(4) 実施体制

1. 協議会及びワーキンググループの構成

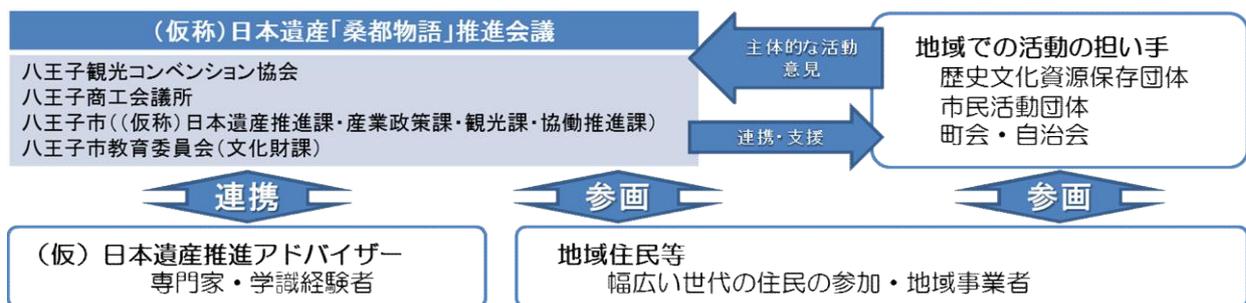
(仮)日本遺産推進アドバイザー  
専門家・学識経験者

(仮称)日本遺産「桑都物語」推進協議会

構成団体：●八王子観光コンベンション協会・八王子商工会議所・八王子市学園都市文化ふれあい財団・  
八王子市町会自治会連合会・高尾山薬王院・八王子織物工業組合・京王電鉄・高尾登山電鉄・  
京王電鉄バス・西東京バス・多摩信用金庫・NPO法人・八王子市（○(仮称)日本遺産推進課）・  
八王子市教育委員会（文化財課）  
＜●：プロジェクトリーダー／○：協議会事務局＞

グループ名	構成団体 <●：グループリーダー／○：事務局>			主な事業内容
	(企業・民間団体等)	(市民)	(市)	
文化財・教育部会	歴史文化資源保存団体		●○文化財課 学校教育部指導課	文化財の調査・研究 学校向け教材開発 小・中学生 まちづくり提案事業
観光・物産部会	●観光コンベンション協会 商工会議所 織物工業組合 交通事業者・宿泊事業者 歴史文化資源保存団体		観光課 ○産業政策課 文化財課	案内看板・説明板設置 ニーズ調査実施 プロモーション用グッズ製作
人材育成部会	大学・短大・専門学校 歴史文化資源保存団体	市民活動団体 地域住民	学園都市文化課 ●○協働推進課 文化財課	ガイドボランティア育成 外国語ガイド育成 大学連携事業
情報発信・普及啓発部会	●観光コンベンション協会 地域事業者	市民活動団体	○観光課 文化財課	Webサイト・映像制作 体験イベント開催

2. 事業進捗管理・ボトムアップ・地域連携の仕組み



(5) 地域活性化計画における目標と期待される効果		定量的評価：		別紙①のとおり	
期待される効果：		歴史文化を活かしたまちづくりの推進 ◆中世城郭（八王子城跡、滝山城跡）及び城主北条氏照の認知度の向上 ◆日本遺産構成文化財の活用による地域の活性化 ◆市民が主体的に参画することのできる観光まちづくりの推進 ◆地場産業の活性化による、地域経済の向上 ◆市民のシビックプライドの醸成 ◆様々な主体の連携（つながり）による地域活動の活性化			
(6) 日本遺産魅力発信推進事業		別紙②のとおり			
事業費：	令和2年度：	38,000千円	令和3年度：	37,000千円	令和4年度： 34,000千円
(7) その他事業		別紙③のとおり			

## （５）地域活性化計画における目標と期待される効果

設定目標Ⅰ：	日本遺産を活用した集客・活性化
計画評価指標：	観光客入込み数
具体的な指標：	観光客数
関連事業：	(6) ①、②、③、④、⑤、⑧ (7) ①、⑤、⑨、⑬、⑭、⑮、⑰
目標値：	令和 1 年度 817.6 万人 ⇒ 令和 8 年度 883.1 万人
設定根拠：	八王子市基本構想・基本計画「八王子ビジョン2022」に掲げる数値目標から推計。
設定目標Ⅰ：	日本遺産を活用した集客・活性化
計画評価指標：	観光客入込み数
具体的な指標：	日本遺産ストーリー関連施設（高尾599ミュージアム、日本遺産センター・郷土資料館、八王子城跡ガイド施設、絹の道資料館）の利用者数
関連事業：	(6) ①、②、③、④、⑤、⑧ (7) ①、⑤、⑨、⑬、⑭、⑮、⑰
目標値：	令和 1 年度 46.5 万人 ⇒ 令和 8 年度 56 万人
設定根拠：	第3次教育振興基本計画に掲げる文化財関連施設利用者数値目標及び高尾599ミュージアム利用者数値目標を踏まえて推計。
設定目標Ⅰ：	日本遺産を活用した集客・活性化
計画評価指標：	外国人観光客数
具体的な指標：	高尾山を訪れる外国人観光客数
関連事業：	(6) ①、②、③、④、⑤、⑧ (7) ①、⑤、⑨、⑬、⑭、⑮、⑰
目標値：	令和 1 年度 7.9 万人 ⇒ 令和 8 年度 12.5 万人
設定根拠：	高尾山に設置している観光施設（高尾599ミュージアム・高尾観光案内所）の外国人利用者数から推計。
設定目標Ⅱ：	日本遺産を核としたコミュニティの再生・活性化
計画評価指標：	地域の文化に誇りを感じる住民の割合
具体的な指標：	八王子の魅力を積極的に友人・家族等に勧めたいと思う市民の割合（推奨意欲スコア）
関連事業：	(6) ②、③、⑦、⑨、⑩、⑪、⑫、⑬ (7) ⑥、⑬、⑭、⑮、⑰、⑱
目標値：	令和 1 年度 39.8 ポイント ⇒ 令和 8 年度 60 ポイント
設定根拠：	八王子市基本構想・基本計画「八王子ビジョン2022」に掲げる数値目標から推計。
設定目標Ⅱ：	日本遺産を核としたコミュニティの再生・活性化
計画評価指標：	日本遺産の認知度
具体的な指標：	日本遺産認定の認知度
関連事業：	(6) (7) 全事業
目標値：	令和 3 年度 70 % ⇒ 令和 8 年度 100 %
設定根拠：	令和3年度から新たに市政世論調査の調査項目に設定する。

設定目標Ⅲ：	日本遺産に関する取組を行うための持続可能な体制の維持・確立
計画評価指標：	日本遺産への協力団体数
具体的な指標：	日本遺産の魅力発信に連携・協力する大学等や企業、事業者数
関連事業：	(6) ②、③、⑦、⑨、⑩、⑪、⑫、⑬ (7) ⑥、⑬、⑭、⑮、⑰、⑱
目標値：	令和 2 年度 10 団体 ⇒ 令和 8 年度 30 団体
設定根拠：	協議会参加団体をはじめ、初年度に10団体を目標とし、関連事業を通じて3倍に増やすことを目標とする。
設定目標Ⅲ：	日本遺産に関する取組を行うための持続可能な体制の維持・確立
計画評価指標：	歴史・文化を継承するまちづくりを応援するためのふるさと納税額
具体的な指標：	寄附金額
関連事業：	(6) ②、③、⑦、⑨、⑩、⑪、⑫、⑬ (7) ②、⑥、⑬、⑭、⑮、⑰、⑱
目標値：	令和 2 年度 1,600 万円 ⇒ 令和 8 年度 2,489 万円
設定根拠：	令和元年度予算額を基準に、日本遺産認定により「歴史文化」を用途目的とした寄附が、毎年5%増加するものとして設定。

※黄色で着色したセルの内容は変更しないでください。

※目標Ⅰ～Ⅳを複数設定する場合は、設定目標～設定根拠までをコピーして欄を増やしてください。

## （6）地域文化財総合活用推進事業（日本遺産）

事業①：文化財関連施設の充実			
事業区分：	活用整備	事業期間：	令和 2 年度 ～ 令和 4 年度
事業費：	令和 2 年度： 8,000千円	令和 3 年度： 8,000千円	令和 4 年度： 8,000千円
事業概要：	構成文化財を公開する拠点となる高尾599ミュージアムや文化財関連施設（郷土資料館・八王子城跡ガイダンス施設・絹の道資料館）の展示の充実や環境整備を行う。		
具体的な指標：	日本遺産ストーリー関連施設への入込み数		
目標値：	令和 1 年度	46.5 万人	⇒ 令和 8 年度 56 万人
事業②：（仮称）日本遺産センターの設置			
事業区分：	活用整備	事業期間：	令和 2 年度 ～ 令和 4 年度
事業費：	令和 2 年度： 6,000千円	令和 3 年度： 4,000千円	令和 4 年度： 4,000千円
事業概要：	集客力の高い八王子駅周辺に「（仮称）日本遺産センター」を新規に開設し、日本遺産の魅力発信拠点とする。（令和 2 年10月開設予定）		
具体的な指標：	日本遺産ストーリー関連施設への入込み数		
目標値：	令和 1 年度	46.5 万人	⇒ 令和 8 年度 56 万人
事業③：日本遺産企画展の開催			
事業区分：	普及啓発	事業期間：	令和 2 年度 ～ 令和 4 年度
事業費：	令和 2 年度： 2,000千円	令和 3 年度： 1,000千円	令和 4 年度： 1,000千円
事業概要：	「（仮称）日本遺産センター」等において、日本遺産認定ストーリーや構成文化財を周知し、その魅力を発信するための企画展を開催する。		
具体的な指標：	日本遺産ストーリー関連施設への入込み数		
目標値：	令和 1 年度	46.5 万人	⇒ 令和 8 年度 56 万人
事業④：案内看板・説明板等の設置			
事業区分：	情報コンテンツ作成	事業期間：	令和 2 年度 ～ 令和 4 年度
事業費：	令和 2 年度： 3,000千円	令和 3 年度： 3,000千円	令和 4 年度： 2,000千円
事業概要：	来訪者が容易に日本遺産の魅力に触れることができるよう、日本遺産認定ストーリーや構成文化財の説明や案内をするための、スマートフォン等と連携した案内看板や説明板等（多言語対応）を設置する。		
具体的な指標：	日本遺産ストーリー関連施設への入込み数		
目標値：	令和 1 年度	46.5 万人	⇒ 令和 8 年度 56 万人
事業⑤：構成文化財及び周辺地の環境整備			
事業区分：	活用整備	事業期間：	令和 2 年度 ～ 令和 4 年度
事業費：	令和 2 年度： 5,000千円	令和 3 年度： 5,000千円	令和 4 年度： 5,000千円
事業概要：	構成文化財の公開にあたり、来訪者の安全性・快適性や良好な景観を確保するために、構成文化財及びその周辺地における安全対策、便益施設の整備、雑木・雑草の除去等を行う。		
具体的な指標：	日本遺産ストーリー関連施設への入込み数		
目標値：	令和 1 年度	46.5 万人	⇒ 令和 8 年度 56 万人

事業⑥： 地域リーダー・ガイドボランティア・外国語ガイドの育成			
事業区分：	人材育成	事業期間：	令和 2 年度 ～ 令和 4 年度
事業費：	令和 2 年度： 1,000千円	令和 3 年度： 1,000千円	令和 4 年度： 1,000千円
事業概要：	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆市内にある21の大学等との連携を推進し、大学生・留学生によるガイドボランティアを育成する。</li> <li>◆地域リーダーや「(仮称)日本遺産子どもガイド」を育成する。</li> <li>◆市民による「(仮称)日本遺産応援団」を編成し、気運の醸成を図る。</li> <li>◆観光大使や観光PR特使による日本遺産PRを展開する。</li> <li>◆市民ユースチューバーの育成研修を実施する。</li> <li>◆生涯学習コーディネーターや観光ボランティアの連携活用を図る。</li> <li>◆日本遺産ガイド・外国語対応日本遺産ガイドの養成講座を実施する。</li> </ul>		
具体的な指標：	ガイド養成講座受講者の後年度活動者数		
目標値：	令和 2 年度	0 人	⇒ 令和 8 年度 50 人
事業⑦： 産学官民連携による地域ブランディング戦略の調査研究			
事業区分：	調査研究	事業期間：	令和 2 年度 ～ 令和 年度
事業費：	令和 2 年度： 2,000千円	令和 3 年度： 2,000千円	令和 4 年度： 2,000千円
事業概要：	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆日本遺産認定ストーリーや構成文化財を活用した地域ブランディング戦略の策定や商品開発(モノ・コト・6次産業化)等を実施するため、地域の住民や既存活動団体(地域おこしNP O、地元生産業事業者等)、大学等、企業活動(CSR、SDGs)との連携・協働により調査研究を実施する。</li> <li>◆構成文化財と、アウトドアスポーツやアクティビティ(サイクリング、トレイルラン、キャンプ、トレッキング等)をセットにした体験メニューを創造する。</li> <li>◆郷土料理、八王子産の野菜や酪農製品、「桑の葉」や「シルクパウダー」、江戸東京野菜等を活用した食を創造する。</li> </ul>		
具体的な指標：	嗜好性調査を踏まえた商品開発数		
目標値：	令和 2 年度	0 件	⇒ 令和 8 年度 20 件
事業⑧： ストーリーを充実させるための調査			
事業区分：	調査研究	事業期間：	令和 2 年度 ～ 令和 年度
事業費：	令和 2 年度： 1,000千円	令和 3 年度： 2,000千円	令和 4 年度： 2,000千円
事業概要：	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆八王子城跡出土品のデジタルアーカイブ化を行うとともに、今後の発掘調査の可視化(調査の公開や参加、情報発信等)を行う。</li> <li>◆構成文化財の魅力を高めるための調査研究を行い、その過程や成果を公開して魅力を発信する。</li> <li>◆八王子城跡の石垣保存のために、市民参加型の“石垣カルテ”作成を行う。</li> <li>◆文化財保存活用区域等を活用し、資源化されていない新たな魅力を創出し、発信する。</li> </ul>		
具体的な指標：	日本遺産ストーリー関連施設への入込み数		
目標値：	令和 1 年度	46.5 万人	⇒ 令和 8 年度 56 万人
事業⑨： 「桑都八王子学」の推進(日本遺産を活用した地域学習の実施)			
事業区分：	普及啓発	事業期間：	令和 2 年度 ～ 令和 4 年度
事業費：	令和 2 年度： 2,000千円	令和 3 年度： 2,000千円	令和 4 年度： 2,000千円
事業概要：	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆日本遺産認定ストーリーや構成文化財についての学習を学校教育(郷土学習)に採り入れる。その成果として、小・中学生による「(仮称)歴史文化を活かしたまちづくり提案会議」を開催し、提案を市の施策に反映していく。</li> <li>◆学園都市センターが開催する「いちよう塾」や生涯学習講座における、日本遺産認定ストーリー関連講座の充実を図る。</li> <li>◆市内の大学等における“地域学”の授業や研究において、市内の産学官連携を推進する。</li> </ul>		
具体的な指標：	市民の日本遺産認定の認知度(令和3年度からの調査)		
目標値：	令和 3 年度	70 %	⇒ 令和 8 年度 100 %

事業⑩：	日本遺産認定記念シンポジウムの開催		
事業区分：	普及啓発	事業期間：	令和 3 年度 ~ 令和 3 年度
事業費：	令和 2 年度： 0千円	令和 3 年度： 2,000千円	令和 4 年度： 0千円
事業概要：	市民や日本遺産に関する専門家等により、日本遺産認定を記念するシンポジウムを開催する。その後、市民や日本遺産に関する様々なステークホルダーの人的交流の機会を設ける。		
具体的な指標：	市民の日本遺産認定の認知度（令和3年度からの調査）		
目標値：	令和 3 年度	70 %	⇒ 令和 8 年度 100 %
事業⑪：	日本遺産ストーリーPRイベントの開催		
事業区分：	普及啓発	事業期間：	令和 2 年度 ~ 令和 3 年度
事業費：	令和 2 年度： 2,000千円	令和 3 年度： 2,000千円	令和 4 年度： 2,000千円
事業概要：	八王子城跡まつりをはじめ、市内外で開催される各種イベントにブースを出展する等、日本遺産ストーリーのPRキャラバンを継続的に展開する。		
具体的な指標：	市民の日本遺産認定の認知度（令和3年度からの調査）		
目標値：	令和 3 年度	70 %	⇒ 令和 8 年度 100 %
事業⑫：	日本遺産情報発信コンテンツの作成		
事業区分：	情報コンテンツ作成	事業期間：	令和 2 年度 ~ 令和 4 年度
事業費：	令和 2 年度： 3,000千円	令和 3 年度： 2,000千円	令和 4 年度： 2,000千円
事業概要：	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆日本遺産認定ストーリーや構成文化財について、小・中学生向けの教材（副読本や学習コンテンツ、新八王子かるた等）を制作する。</li> <li>◆構成文化財の魅力を発信するデジタルコンテンツ（動画等）を制作する。</li> <li>◆プロモーション動画を中心にSNSを活用した情報発信を行う。</li> <li>◆八王子城の古地図（縄張り）とハイキングマップを重ねた地図アプリを開発する。</li> </ul>		
具体的な指標：	コンテンツ制作数		
目標値：	令和 2 年度	5 件	⇒ 令和 8 年度 50 件
事業⑬：	プロモーション用グッズ製作		
事業区分：	情報コンテンツ作成	事業期間：	令和 2 年度 ~ 令和 4 年度
事業費：	令和 2 年度： 2,000千円	令和 3 年度： 2,000千円	令和 4 年度： 2,000千円
事業概要：	日本遺産認定ストーリーや構成文化財について周知するグッズを製作し、広く情報を発信する。		
具体的な指標：	グッズ制作数		
目標値：	令和 2 年度	10 件	⇒ 令和 8 年度 50 件
事業⑭：	文化財の保存・再生のためのクラウドファンディングの実施		
事業区分：	普及啓発	事業期間：	令和 3 年度 ~ 令和 3 年度
事業費：	令和 2 年度： 0千円	令和 3 年度： 0千円	令和 4 年度： 0千円
事業概要：	構成文化財の保存・再生を目的としたクラウドファンディングを実施する。		
具体的な指標：	クラウドファンディングの額		
目標値：	令和 2 年度	0 千円	⇒ 令和 8 年度 1,000 千円

事業⑮： 構成文化財とその他の資源・拠点をつなぐ交通手段整備の検討			
事業区分：	普及啓発	事業期間：	令和 2 年度 ~ 令和 4 年度
事業費：	令和 2 年度： 0千円	令和 3 年度： 0千円	令和 4 年度： 0千円
事業概要：	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆文化財関連施設、交通拠点、構成文化財の間を移動するための経路や交通手段（バス、観光タクシー、シェアサイクル等）を検討する。</li> <li>◆日本遺産認定ストーリーを巡るモデルコースを開発する。</li> </ul>		
具体的な指標：	モデルコースの開発数		
目標値：	令和 2 年度	0 コース ⇒	令和 8 年度 10 コース
事業⑯： 日本遺産認定ストーリーを体験するワークショップの実施			
事業区分：	普及啓発	事業期間：	令和 2 年度 ~ 令和 4 年度
事業費：	令和 2 年度： 1,000千円	令和 3 年度： 1,000千円	令和 4 年度： 1,000千円
事業概要：	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆市民に文化財の保存・活用への主体的な参画を促すためのワークショップを開催する。</li> <li>◆事業者と連携し、日本遺産認定ストーリーに関連する織物や染物等の伝統的な技術を体験することのできるオープンファクトリーを開催する。</li> <li>◆市民ボランティアとの連携により、文化財関連施設等において手織りや生糸紡ぎ等のワークショップを開催する。</li> <li>◆“桑都文化”を体験・体感できるワークショップを開催する。</li> </ul>		
具体的な指標：	市民の日本遺産認定の認知度（令和3年度からの調査）		
目標値：	令和 3 年度	70 % ⇒	令和 8 年度 100 %

## (7) その他事業

事業①:	日本遺産ストーリー周遊機能充実事業		
実施主体:	八王子市・民間交通事業者	事業期間:	令和 2 年度 ~ 令和 年度
事業概要:	シェアサイクルの導入、シャトルバス・観光タクシーの運行等により周遊機能を充実させる。		
事業②:	ふるさと納税の活用		
実施主体:	八王子市	事業期間:	令和 2 年度 ~ 令和 年度
事業概要:	日本遺産認定ストーリーを絡めた市内めぐりやツアー等の体験型の返礼品をふるさと納税に導入し、寄附を歴史文化資源の保存・活用に充てる。		
事業③:	高尾山応援基金の運用		
実施主体:	高尾山応援基金運営協議会	事業期間:	令和 年度 ~ 令和 年度
事業概要:	高尾山応援基金を活用し、高尾山の魅力向上に取り組む。		
事業④:	伝承のたまてばこ～多摩伝統文化フェスティバル～		
実施主体:	学園都市文化ふれあい財団・八王子市	事業期間:	令和 年度 ~ 令和 2 年度
事業概要:	多摩地域及び八王子市の伝統文化を活かしたプログラムを新たに制作・発表することにより、伝統を継承し、新たな文化を創造する。		
事業⑤:	伝統文化ふれあい事業		
実施主体:	学園都市文化ふれあい財団・八王子市	事業期間:	令和 年度 ~ 令和 年度
事業概要:	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆八王子車人形、説経節、木遣・獅子舞等民俗芸能の体験・発表講座の開催と受講生による合同発表会、アウトリーチ等を開催する。</li> <li>◆八王子に現存する特色のある伝統文化の体験者・理解者の裾野を広げ、次世代に伝えていく場を創出する。</li> </ul>		
事業⑥:	高尾599ミュージアムの運営		
実施主体:	八王子市	事業期間:	令和 年度 ~ 令和 年度
事業概要:	「日本遺産」及び「高尾山」の魅力発信や普及啓発の拠点として展示・案内の充実を図る。		
事業⑦:	織物伝承活動支援		
実施主体:	八王子市	事業期間:	令和 年度 ~ 令和 年度
事業概要:	地場産業である繊維産業のPR事業や、「はた織」技術を伝承する活動への支援を行う。		
事業⑧:	繊維産業振興・後継者育成・伝統教育事業		
実施主体:	八王子織物工業組合・八王子市	事業期間:	令和 年度 ~ 令和 年度
事業概要:	繊維産業や「多摩織」のPR、小中学生を対象とした手織り体験、小中学校への出前授業を実施する。		
事業⑨:	MICE都市推進		
実施主体:	八王子観光コンベンション協会・八王子市	事業期間:	令和 年度 ~ 令和 年度
事業概要:	日本遺産認定ストーリーや構成文化財をエクスカージョンやユニークベニューに活用して、MICE誘致戦略を推進し、MICE参加者をターゲットとした日本遺産の普及啓発を図る。		
事業⑩:	高尾山薬王院書院等の特別公開		
実施主体:	高尾山薬王院	事業期間:	令和 2 年度 ~ 令和 年度
事業概要:	書院等、通常は公開していない建造物や文化財を期間限定で公開する。		
事業⑪:	フォトロゲイニング大会の開催		
実施主体:	八王子観光コンベンション協会・八王子市	事業期間:	令和 3 年度 ~ 令和 3 年度
事業概要:	日本遺産認定ストーリーと構成文化財を活用したフォトロゲイニング大会を開催する。		

事業⑫：	留学生によるモニターツアーの開催		
実施主体：	八王子市	事業期間：	令和 2 年度 ~ 令和 年度
事業概要：	大学コンソーシアム八王子等との連携により、市内の大学等に在学している留学生を対象としたモニターツアーを開催し、ニーズ調査や新たな魅力の発掘を行う。		
事業⑬：	北條氏照まつり		
実施主体：	元八王子地区町会自治会連合会	事業期間：	令和 年度 ~ 令和 年度
事業概要：	構成文化財である八王子城主北条氏照をテーマにした既存のイベントを充実させる。地元町会が主体となり、地域の誇りと愛着形成、つながりを目的に、姉妹都市との連携を深めていく。		
事業⑭：	高尾山口駅および参道周辺整備事業		
実施主体：	八王子市・東京都	事業期間：	令和 年度 ~ 令和 年度
事業概要：	高尾山口駅及び薬王院参道周辺における土地利用、道路・河川、防災等の整備について、地域住民、事業者等多様な主体の参画により、一体的なまちづくりを行っていく。		
事業⑮：	高尾山若葉まつり・もみじまつり		
実施主体：	高尾山商店会 八王子観光コンベンション協会	事業期間：	令和 年度 ~ 令和 年度
事業概要：	八王子車人形や獅子舞・八王子芸妓等桑都の伝統文化や地元の食文化を体験することができるイベントを新緑・紅葉の時に高尾山で開催する。		
事業⑯：	北条氏照公像建立		
実施主体：	八王子市	事業期間：	令和 3 年度 ~ 令和 3 年度
事業概要：	日本遺産認定ストーリーを周知するシンボルとして、北条氏照公像を建立する。		
事業⑰：	八王子まつり・八王子いちょう祭り		
実施主体：	八王子まつり実行委員会 八王子いちょう祭り祭典委員会	事業期間：	令和 年度 ~ 令和 年度
事業概要：	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆80万人が訪れる関東屈指の山車まつりとして知られる「八王子まつり」の企画運営及び日本遺産PRを行う。</li> <li>◆50万人が訪れる「いちょう祭り」の企画運営及び日本遺産PR及び小仏関跡の関所巡りイベントとして活用を行う。</li> </ul>		
事業⑱：	八王子車人形及び民俗芸能の普及・啓発		
実施主体：	八王子指定文化財芸能団体協議会	事業期間：	令和 年度 ~ 令和 年度
事業概要：	桑都の伝統芸能の公演の企画運営及び無形文化財保存団体の相互の連絡調整を行う。		
事業⑲：	国史跡・八王子城跡の保存整備事業		
実施主体：	八王子市	事業期間：	令和 年度 ~ 令和 年度
事業概要：	八王子城跡において、発掘調査及び用地取得を引き続き行っていく。		